

# 手をつなぐ浜松

## HAND IN HAND

Vol.93 2024. 6. 7



発行：浜松市浜松手をつなぐ育成会

〒435-0054

浜松市中央区早出町815番地の3

浜松市浜松手をつなぐ育成会事務局

TEL(FAX) 053-544-9010

E-mail:

jimukyoku@hamamatsu-ikuseikai.net

## 2024年度 総会報告

日時：令和6年5月25日(土) 13:30～

会場：浜松市福祉交流センター大会議室

五月晴れのこの日、多くの来賓・招待者を招いて開催されました。コロナが5類となって1年が経ちますが、今回もオンライン併催とし、会場に来られない方の参加も可能としました。

冒頭の小出会長からの挨拶の中で「育成会東海北陸ブロック会議において、記憶に新しい能登半島沖地震の被災地である石川県育成会会長が、地域とのつながりが非常に大切であった、と述べられ、私たちも日ごろから民生委員はじめ地域の方と顔の見える関係を構築していくことが重要」「県内の療育手帳所持者は、人口減・少子化の中、毎年千人程度の増加があり、今年度4万人を超えた。育成会会員は、新たに知的障害のあるお子さんを持った保護者に対し、制度やサービス利用の先輩として、手を差し伸べて欲しい」「支援者、行政、地域の皆さんには、総会資料に掲載されている特別支援教育を受けている児童・生徒の人数推移、また卒業後の進路先データを参考にいただき、教育・政策にぜひ活かしていただきたい」とお話しされました。

続く感謝状贈呈及び表彰状授与では、まず長年にわたり発達支援講座親子陶芸教室においてご指導いただいている安藤早恵子様に感謝状を贈呈させていただきました。今後ともどうぞ育成会活動にご協力お願いします。続いて、本人表彰として10年勤続を称えて、表彰者3名のうち出席された渥美雄介様に表彰状が授与されました。長年理事及び役員としてご尽力いただいている役員2名にも表彰状が送られました。表彰者の皆さん、おめでとうございます。ますますのご活躍を期待しています。

続いて来賓3名の方よりご祝辞をいただきました。浜松市健康福祉部部長 小松靖弘様は「第4次浜松市障害者計画を策定した。今年度は相談支援体制の充実を図り、障害者支援体制に寄与していく」と述べられました。浜松市市議会議員 黒田 豊様から「小出会長、浜松育成会の活動により、浜松市の障害者教育・支援施策が充実してきた」、浜松特別支援学校校長 園田一哉様からは「浜松育成会の歴史は、昭和37年から。福祉・教育が不十分な時代から、こつこつと積み重ねてこられた取組みに敬意・感謝の意を表す」とのお言葉をいただきました。他に、根洗学園の松本園長から「わが子に障害があるかどうか不安な時期に、育成会の先輩の声が届くのは安心につながると思う。私たちはこれからも、その橋渡しの役割を担う」とおっしゃっていただきました。

ご来賓の方々より、育成会の歴史や取組みの成果、そして会の活動意義について伺うことで、私たちの活動は成果がすぐに見えなくても、継続していくことにこそ大きな意義があり、それが結果的に大きな成果に繋がっていくのだと感じ、先輩方に感謝し、後輩方へ引き継いでいきたいと思いました。

議事については、全ての議案について満場の拍手により承認されました。(報告者 水崎 裕久)

■感謝状贈呈 陶芸家 やきもの工房&(あんど)主催 静岡県工芸家協会理事 安藤早恵子様

■表彰状受賞 永年勤続表彰 渥美雄介様 森下龍昇様 山本忠明様  
役員表彰 佐々木正子様 芝 充子様

○総会参加者 会場76名 オンライン参加者20名

○皆さまのお手元にお届けしました「総会資料」にはいろいろな情報が掲載されていますので、ぜひご一読ください。

◆総会第2部 講演会報告 災害現場での活動から見た障害者家族がするべき減災対策 特定非営利活動法人静岡県障害者協会相談支援専門員 防災担当 松山文紀 氏	2・3
◆保護者の学び舎 温故知新 手をつなぐ育成会の歩み	4
◆「しずおかサポートファイル」が改訂されました	5
◆発達支援講座が作る人のつながり	6・7
◆部会・委員会 今年度の取り組み	8
◆行事予定 (6月～9月)	



小出会長

# 総会第2部 講演会



## 災害現場での活動から見た障害者家族がすべき減災対策

講師 特定非営利活動法人静岡市障害者協会  
相談支援専門員 防災担当 社会福祉士 松山文紀 氏

静岡市出身。大学生の時に京都市内で阪神・淡路大震災を経験。神戸でのボランティア活動を通して復旧・復興支援活動に携わった。その後も、地震・豪雨災害・台風や竜巻など全国各地の被災地支援の経験がある。また、障害者施設での勤務経験もあり、現在は静岡市障害者協会（基幹相談支援センター）で相談支援専門員をされている。



### ① 要配慮者＝高齢者、障害者、乳幼児その他配慮を要する者

自分の身に危険が差し迫った場合、それを察知する能力がない、察知しても適切な行動をとることができない、または困難な者。その中で災害が発生した場合や、発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るために特に支援を必要とする者＝知的・発達障害者も含まれる。

### ② ハザードとは＝危険性

浜松市の HP には、7種類（地震震度分布、地震液状化可能性、洪水、土砂災害、内水、ため池、津波）のハザードマップが掲載されている。ハザードマップは自然災害の危険性を地図上に表記した「情報」でしかない。（2018年西日本豪雨：岡山県真備町の浸水想定域はほぼ一致）その「情報」を受け取った人が、意味を理解して、事前の対策をとることが必要であり、**「見ただけ」では、ほとんど意味をなさず、危険性を把握した後の対策が重要**である。地震（揺れ）への対策は、家や家財の下敷きにならないこと＋安全に屋外に出られる準備が必要。また、津波浸水想定域に暮らしている人は必ずそのエリアの外または津波避難施設に避難し、洪水の際は、浸水エリア外または上階に避難することが大切。5mの浸水予想ならば2階に避難では足りない。市内中心部にも土砂災害警戒区域は多く存在する。事前に立ち退き避難先を決めておく必要がある。

### ③ 避難について…「避難行動」と「避難生活」に分けて考える

適切な「避難行動」がとれて初めて「避難生活」を送ることができる

**いつ移動を開始するか（タイミングやルート）**

… 「高齢者等避難」「土砂災害警戒情報」 明るいうちに

**どこへ移動するか（避難先と安全なルート）**

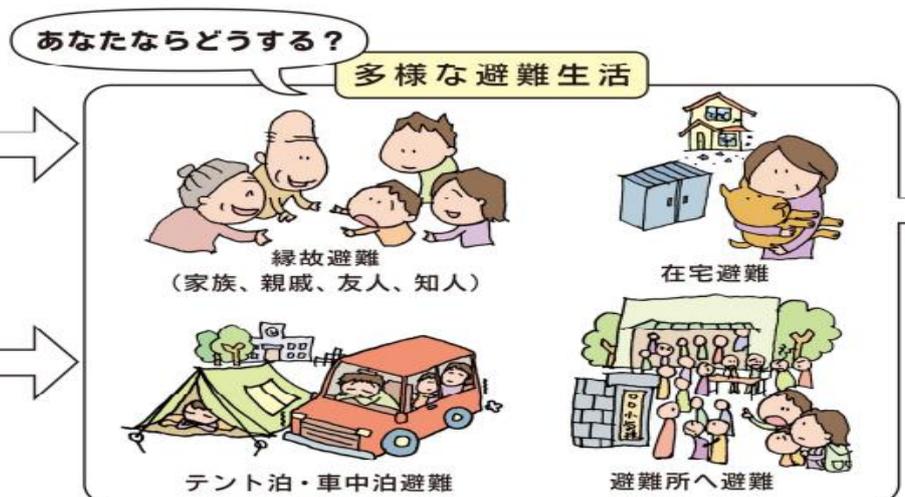
… 危険なエリア外へ、親戚宅、友人宅、ホテル、自宅上階など

**誰と移動するか（協力者・支援者）** … 家族、近隣の方

**どのようにして移動するか（方法や手段）** … 季節や時間帯も考慮し、計画・予行練習も推奨

「避難生活の場」や形態は様々だが、避難所は決して良い環境ではない。特に、要配慮者への配慮は皆無。

できるだけ行かなくて済むよう準備が必要であるといつてよいほど、生活しづらい状況である。



「避難生活の手引き」（令和6年2月）静岡県のHPより

## ④ 福祉避難所について(浜松市 HP より)

地震や風水害その他の災害が発生した場合、市が設置する指定避難所(小・中学校)等での生活において特別な配慮を必要とする方を対象とした24時間体制の二次的な避難所です。**受け入れ対象者は、原則として指定避難所での生活が困難であり、常時介護を要しない在宅の高齢者、障がいのある人等の災害時要配慮者**です。また、介護等にあたる最低限の家族も受け入れます。なお、**福祉避難所は、必要に応じて開設される二次的な避難所であり、最初から福祉避難所として利用することはできません。**

## ⑤ 今後に備えて…災害対策の基本は「自助」

まずは家の中に危険がないか確認しよう。そもそも「避難所に行かなくてもいい対策」を進めておこう。能登半島地震で亡くなった方の死因は、圧死・窒息・呼吸不全・低体温症・凍死が78%を占めている。家が倒壊しなければ命を落とさなかったはず。また、トイレは水や食料の備蓄以上に深刻な課題である。

【4人家族の場合、必要な非常用トイレはいくつ?】 1人平均1日に6~7回

4人×7回使用=28個 4人家族だと1日に28回分の非常用トイレが必要。  
ライフラインの復旧目安である1週間分を用意するなら、  
28回分×7日間=196個 **およそ200回分の非常用トイレが必要!!**



## まとめ

- ・災害そのものを防ぐことはできないので、まずは命を守るための行動を考えておこう。
  - ・地域の避難所で(3日以上)の生活が難しいと考えられる方は、別に避難できる先を見つけておこう。
  - ・「助けてほしい」を言えるつながり(近所づきあい、SNS、育成会など)を平時に作っておこう。
- (報告者 伊藤 幸枝)

## 総会と講演会アンケートより



## 【第1部について】

- ・様々な来賓の方のお話や会長のお話から、当事者から声を上げていくことの大切さを改めて感じました。(幼児部会)
- ・今後の方針に共感しました。自分の子供の将来の事を改めて考えるきっかけになりました。(幼児部会)
- ・感謝状贈呈及び表彰状授与のお手伝いが出来てよかったです。(成人部会 本人会)
- ・毎年のことながら本人表彰は感動します。会長が話しかけたあとの本人の回答の時、マイクをもう少し口元近くへもって行ってあげるともっとよく聞こえたと思うのでそれが残念でした。(成人部会)

## 【第2部について】

- ・自助の大切さを強調されていたが災害時はその通りだろうなあと感じた。実際に経験されたことで話されると現実味がある。(成人部会)
- ・能登半島地震の現状も教えていただき、たいへん勉強になりました。(支援者)
- ・自宅地域のハザードマップなど再度確認していきたいです。こどもたち向けにも何かやれたら良いなと思いました。(中学校部会)
- ・実際に被災したり避難生活をするようになった時どんな状況どんな精神状態になるのか想像しきれないが必要と思う。備えは機会があるごとに見直さなければと思いました。ひと口に障がいといっても助けてくれる側の人が把握できることは少ないことが分かりました。助けてもらう側が声をとどけることも大事ですね。なかなかむづかしいけど。(成人部会)
- ・非常にためになる講演、時間がもう少しあったら良かった。自助の行動を起こさなければいけないと思った。行政には期待できない。(成人部会)

## 【総会全体について】

- ・ハイブリット開催は参加しやすくなると思います。(支援者)
- ・近隣の駐車スペースが厳しいなか、ほぼ時刻どおりに到着されたこと、多数ご出席いただいたことに感謝です。(成人部会)
- ・とても和やかな空気の中すすんでいき良かったです。おつかれさまでした!!(中学校部会)
- ・総会に出ると育成会の果たすべき役割や果たした影響について改めて認識します。大切な会だと思います。(成人部会)
- ・来賓、招待者(関係機関)が多数出席されていて、外部から注目される会として、育成会の活動は認識されていると思いました。(成人部会)



## 保護者の学び舎

第27回

ここでは、浜松市の福祉の現状や、身近な制度などについてお伝えしていきます。

### 温故知新 手をつなぐ育成会の歩み

全国手をつなぐ育成会は、今年度で72周年を迎えます。浜松市浜松手をつなぐ育成会は、その10年後に創立しております。今回は浜松市において育成会の礎（いしずえ）となる足跡を顧みてこれからの育成会活動を担う人たちの目的と目標を確認する参考にしたいと思います。

昭和27年、全国手をつなぐ育成会創立のきっかけは、東京に住む3人のお母さんの呼びかけであったのはご存知の通りですが、昭和25年東京都千代田区にある小中学校に特殊学級が設置されました。しかし入れたのは、対象となる児童12,997名のうち144名、中学生5,911名のうち50名でした。3人のお母さんのお子さんは小学校の特殊学級の児童でした。

その学級を都内や他県から見学者がひっきりなしにおとずれたその様子を見た3人のお母さんの呼びかけが瞬く間に全国に広がり「手をつなぐ育成会」の創立になりました。

この時の運動目標は、次のとおりでした。

1. 養護学校及び特殊学級設置義務化
2. 施設の増設及び内容の充実
3. 福祉のための法的措置の整備及び職業補導施設の設置



浜松学園

浜松市手をつなぐ親の会（現育成会）の創立は、昭和37年（1962年）とされておりますが、記録によりますと同年には浜松市に「職業補導センター」の設置を陳情し昭和42年に静岡県立浜松学園が発足しております。職業補導施設創立は、全国手をつなぐ育成会の運動目標と連携したものであり全国でも先駆けた運動を行うことで「手をつなぐ親の会（育成会）」が結成されたものと推測されます。

そして就学猶予制度の中、何とか中学の特殊学級を卒業した子どもたちの自立訓練の場を実現しました。

昭和49年、浜松市手をつなぐ親の会（現育成会）の要請を受けて浜松市が根洗学園の設置・運営を社会福祉法人ひかりの園に委託しました。

就学猶予、免除という教育の対象外とされた学齢相当児の教育の場が保障されたこととなります。養護学校が義務化される昭和54年以前の知的障害児の教育は、障害児施設において行われており、「〇〇学園」という施設名にそのような歴史が刻まれているところが多いです。

現在の浜松市根洗学園は、就学前の児童発達支援施設として定員80人の市内の中心的な役割を担っております。卒園生の保護者は育成会の会員も多く、私にとっては、ここでの学びがわが子との療育の出発点になっています。



浜松市根洗学園

昭和53年知的障害児が通う静岡県立浜松養護学校が設置され翌年（昭和54年）養護学校が義務化されました。「知的障害のあるわが子に教育を」と人として当たりまえの権利がやっと得られました。



浜松養護学校（現特別支援学校）

知的障害のあるわが子が学校へ通えるようになりましたが、次の問題が発生しました。卒業後の日中活動の場が足りない問題でした。

それに立ち向かったのが親達です。日中活動の場がなければ作る。全国で無認可の作業所が多くつくられました。親の会であれば市町村事業として設置が認められ補助金が支給されました。

その後、平成15年の障害福祉制度改革により制度が措置から契約へ大変革が起こり、障害福祉サービスが現在のような形で行われるようになりましたが、措置から契約への大変革期の浜松市の様子は次の機会にしようと思います。

（文責 会長 小出 隆司）

# 「しずおかサポートファイル」が改訂されました

～ 2024年 改訂第3版を発行します ～

## しずおかサポートファイル

さらに使いやすくなったサポートファイルを活用しよう

**改訂ポイント 1**

どこから書き始めたらいい？

**記入のアドバイス**

を参考にしながら書いてみよう

**改訂ポイント 2**

20歳までに準備しておこう

**障害基礎年金申請手続きの**

ページを追加

**改訂ポイント 3**

親と子のエンディングノート

**「親心の記録」**

遺言書についての項目を追加

- ✓ 場面ごとに使うページがわかる「サポートファイル場面別活用例」のページを追加
- ✓ 就労や自立を目指す達成度を記録する「ライフスキル・チェックシート」を追加
- ✓ 現代社会では必須！覚書としても使える「デジタル遺産について」のページを追加
- ✓ 必要な箇所だけ、静岡県ホームページからダウンロードすることもできます (PDF版またはWord版)

静岡県HP

しずおかサポートファイル

### 年代別 記入のアドバイス

**「記憶」より “記録”**

Q. どこから書き始めるのが良いですか？

A. まずは、「記入例」のあるページから書き始めましょう！

記入例があるページは、どの年代にもとても重要なページです。

**幼児期**

生まれてから現在までの様子と少し先の就学の時に立てるページを優先し、小学校入学までに「プロフィールブック」や「支援ブック」を記入しておきましょう。以前と変わったところは後でわかるように赤ペンなどで記入しておきましょう。成長著しいときです。就労に向け「成長の記録」も記入しましょう。

**学齢期**

学齢後は、担任との面談や個別の教育支援計画など、個人情報共有できるように「プロフィールブック」や「支援ブック」を記入しましょう。以前と変わったところは後でわかるように赤ペンなどで記入しておきましょう。成長著しいときです。就労に向け「成長の記録」も記入しましょう。

**卒業後、20歳を迎えるまでに**

20歳の誕生日までに障害基礎年金申請の手続きをする方は、医療機関を受診し、必要な書類を準備しましょう。20歳になるまでに、「プロフィールブック」の「障害基礎年金について」をよく読み、「病歴・就労状況等申立書の下書きのページ」を記入しておきましょう。

**青年期・成人期**

学齢期を過ぎてからは、子どもの誕生日など定期的に見直し、基本事項や医療の受診など追加や変更があれば記入し直しましょう。親自身の老後と隣りあがる子どもの将来のことを今すぐ決めるのは難しいことですが、「いつか」や「まさか」の時のために、少しずつ「親心の記録」を書けるところから書いておきましょう。書くことで親自身の安心感にもつながります。

**親が残していくもの**

「サポートファイル」や「親心の記録」を記入したら、それらを記入してあることと、家のごとこに保管しているか、または誰に預けているかを、信頼できる人に伝えておくことが大切です。

あわてないで!! こんな場面で「サポートファイル」が活躍します

福祉サービスや  
年金申請時

突然の入院

災害時の避難

親なきあと

破滅、紛失等で改訂版をご希望の方は、所属する各市の育成会へお問い合わせください  
<お問い合わせ>

**静岡県手をつなぐ育成会事務局**

〒420-0856  
静岡県静岡市東区駿府町1-70 シズエール3階  
TEL 054-254-5230 FAX 054-254-6396  
MAIL s-ikuseikai@iku-fukushi.jp

【しずおかサポートファイル】は  
静岡県手をつなぐ育成会が静岡県健康福祉部障害者支援局障害福祉課より委託を受けて作成し、全県域で普及を図る事業により2012年に初版が発行されました

### わが子だけの「マイサポートファイル」を作ろう!!

※ 最新情報に更新しておくために

- ・お子さんの誕生日や記念日
- ・就園、就学、進級など節目の時期
- ・障害福祉サービスの更新時
- ・障害支援区分の聞き取り時 などに  
見直し、記入するよう心がけましょう

クリアポケット (レフィル) に入れて

一緒に保管しておく!

写真

個別の教育支援計画  
福祉サービス契約書  
障害者手帳  
受給者証など

## 発達支援講座が作る人のつながり

浜松市浜松手をつなぐ育成会独自の活動として『発達支援講座』を始めて、7年目となりました。毎年30回以上の講座を開催し、参加者は講師含めて年間平均500人を超えています。活動内容は、心理学や制度などの知識の講座、施設や会社などの見学会、親子活動、陶芸などのアートと、段々と広がって来ています。特にアートでは、陶芸教室が定着したことを受けて、展示の場や「かーくん作品展」など、みんなの喜ぶ顔を見るためならと、どんどん幅を広げて来ました。また、本人が参加できる活動も、できるだけ多く企画するようにしました。見学やイベント企画力で小中学校部会などと親子社会見学や芋煮会などの共催の活動もしてきました。

この発達支援講座は、たくさんの人と育成会とのご縁を結ぶものとなり、わずかな謝礼で講師を務めてくださる方や、部会の役員になってくださる方などが生まれてきました。困りごとの相談相手や気の合う仲間を見つけたり、異業種交流をしたり、講座の内容より休み時間のおしゃべりの方が盛り上がっているのでは、と思うこともあったほどです。ここに行けば育成会の人がいる、受け入れてもらえる、そんな場所作りを目指して開催してきた発達支援講座に、会員・非会員問わずあなたも参加してみてください。リクエストがあれば、1人のためにでも講座を開催します!

まずはチラシに掲載した浜松育成会公式LINE QRコードから、講座の報告やイベント案内を受け取って、様子を見てくださいね。  
(発達支援委員会 委員長 前堀 告予)

### 発達支援講座開催の推移

年度	開催回数	参加人数 (延べ人数)
2019	51	691
2020	36	546
2021	35	516
2022	36	426
2023	32	461
合計	190	2,640





## 浜松育成会の部会・ 委員会を紹介します ～こんな活動を行います～

### 幼児部会

幼児部会では、今年度もしずおかサポートファイル説明会と書き込み会を開催します。

サポートファイルは、我が子の成長記録としても使えますし、普段のお子さんの様子や病気、その子の得意なこと、苦手なことなど、言葉では伝えきれないことを記録にして相手に伝えるという情報手段としても活躍します！

みんなでお話しながら楽しい時間にしましょう♪

6月に説明会、書き込み会は7月に1回目、秋頃に2回目を予定しています。

みなさんの参加をお待ちしています♪ (報告者 金原 恵子)

### 小学校部会

今年度は小学校部会と中学校部会と一緒に活動をしていくことになりました！

まず新イベントとして5月9日(木)にランチ会を開催しました。NPO法人遠州生活支援net様のご協力をいただき、就労継続支援B型のLaLa caféさんにて就労支援サービスの説明会と美味しいランチをしながら参加者同士子育ての話題などで盛り上がりました。参加者の皆様からは、楽しい時間がもてたなど嬉しい感想もいただきました。

今後は発達支援委員会共同開催で、夏休み社会科見学会や秋の芋煮会などをやる予定ですので、皆さまのご参加をお待ちしております。 (報告者 安間 貴子)



### 中学校部会

今年度は、小学校部会と協力して、小中学校と、更に高校に通っている方も交流できるようなイベントを開催したり、学齢期に必要な情報を皆様にお届けできるように活動を行っていききたいです。

昨年からはじめた本人のための本人会も、子どもたちの交流の場として続けていけたらいいなと思っています。そこで、一緒に活動してくれる方、大募集中です！お子さんはもちろん保護者の方、興味がある方は小中学校部会公式LINEよりご連絡ください！一緒に楽しく活動して行きましょう♪

その他、イベント等のお知らせは浜松市浜松手をつなぐ育成会公式LINEから送ります。まだ登録されていない方はぜひこの機会に両方の公式LINEへの登録をお願いいたします。今年度も、たくさんの皆様とお会いできるのを楽しみにしています。 (報告者 喜友名瑞穂)

### 特別支援学校部会

今年度の特別支援学校部会は勉強会を中心に活動していきたいと思っています。

「知りたいことを知る」機会を増やし、また交流を重ねて、会員さんとより繋がっていただけたらと思います。特支部会のイベントにたくさんの方が参加してくださるよう、いま必要な知識や情報が受け取れるように、公式LINEの発

信も増やしていきます。

5月には障害年金についての勉強会を開催しました。

DVDを観ながら、ちょっとしたワンポイントや先輩お母さんからの実際の体験談など聞くことができ、有意義な時間となりました。今後は、サポートファイルの書き込み会や施設見学、座談会など企画しています。また毎年大好評のバスツアーやトランポリンパークなどの貸切イベントも予定しています。みんな楽しく活動していますので、ぜひお気軽にご参加ください。今年度もどうぞよろしくお祈りします。 (報告者 佐々木正子)

### 成人部会

#### 【竹の子を掘りに行こう!】

開催日時:令和6年4月7日(日)・4月14日(日)

開催場所:今田家所有の竹林と今田家

参加人数:両日 86名 部会(幼児4名・小学校10名・

中学校4名・特支4・成人64名)

竹の子がどうやって生えているのか、どうしたら上手く掘れるのか教えてもらいながら取り組みました。小さな物から大きな物まで30本ほど収穫でき、みんな喜んでいました。

早速調理に入りました。初めての竹の子のお刺身や竹の子汁を作る時には野菜を切るなど準備に成人部会の本人さんもお手伝いしてくれました。アルミを巻いた焼き竹の子とどの料理も大人気で用意した大鍋一杯の竹の子汁も完成しました。

両日とも薄曇りで暑すぎず気持ちの良い一日を過ごせました。持ち帰りの竹の子もあり大満足でした。

竹の子掘りや芋掘りなど成人部会の人気ある活動を支えてくれている今田さんには感謝しています。

(報告者 百瀬江利子)



#### 【今年度前半の成人部会の活動】

6/9 7/7 9/8「親子で歌おう!ハッピークワイア」、8/4には「ボウリング大会」があります。成人部会に新しく入られた方もご参加ください。お待ちしております。一年間よろしくお祈りします。 (報告者 小粥久仁子)

### 児童委員会

今年度、児童委員会代表になりました、村松香織です。色々不慣れですので、先輩方に助けていただきながら自分の経験を生かして、委員会活動に臨みたいと思います。よろしくお祈りします。

私には現在、特別支援学校高等部1年生の息子がいます。我が子の進路を考える上で、小学校低学年のうちから、いろいろな情報に接し戸惑いを感じました。

そんな時、児童委員会が開催してくれた座談会や、情報提供会が心強い場であった事を思い出しました。学齢期は、迷ったり悩んだりする事が多くあります。そのような親御さんの気持ちに寄り添えるような活動をしていきたいと考えています。

そして今年度も、一緒に活動して下さる方を募集しています。興味のある方は、お気軽に児童委員会までお知らせ下さい。皆さんからのご連絡をお待ちしています。

(報告者 村松 香織)



## イベント委員会

今年度も9月14日(土)に『浜松市障害者スポーツ大会(すまいる)』が浜北総合体育館(サーラグリーンアリーナ)にて開催されます。いろんなスポーツを楽しめる様計画しています。みなさんは是非いらしてくださいね! 詳細は後日お知らせします。また、昨年度から認定NPO法人魅惑的倶楽部(エキゾチッククラブ)と共催で『マジックハートコンサート』を開催していますが、今年度も6/1(土)、7/20(土)、10/20(日)、12/15(日)、2/1(土)、3/22(土)の6回を予定しています。障害のある人も、ない人もともに楽しむコンサートで、いずれもサーラ音楽ホールで行います。13:00~受付、13:30 スタートで約2時間のコンサートとなります。予約申し込みなしでどなたでも無料で参加できますよ。浜松育成会のバスケットボールチーム《Wings》ではメンバーを募集しています。月に一回の練習で、年に一度試合(わかふじ大会)にも参加しています。まずはお気軽に見学や体験をしてみませんか? お待ちしています!



【募集対象】浜松育成会の会員中学生以上(男女問わず)

【問合せ・連絡先】イベント委員会  
(QRコードのアドレスまで)  
(報告者 鈴木さゆり)

## 地域生活支援委員会

今年1月、浜松市の行政区が3区に再編されましたが、4月から障がい福祉の圏域は旧7区を基本により細かく再編され、各エリアに障がい者相談支援センターが開設されています。また、各センターは事務局としてエリア連絡会の運営を担っています。私たち地域生活支援委員会のメンバーは、それぞれのエリア連絡会に障がい当事者として参加し、関係機関の方々と地域ごとの課題や関係づくりをしています。

また、浜松市障がい者自立支援協議会へも他の障がい者団体の皆さんと参加し、より暮らしやすい浜松市となるよう活動しています。今年度は専門部会のひとつ「こども部会」へ育成会が当事者として出席します。学齢期の会員さんの声を市へ直接届けることができそうです。(そのためにも学齢期の方がもっと会員になってくださると嬉しいです。)

日々、「不便だなあ」「こうなったらいいのに」と思うこと何でも、気軽に育成会までお知らせください。

(報告者 伊藤 幸枝)

## 啓発委員会



啓発委員会の活動は、おもに浜松キャラバン隊による啓発活動です。金子みすゞさんの詩にあります「みんなちがってみんないい」を合言葉に知的障害や発達障害のある人がどんな人か寸劇や疑似体験などを通して伝える活動をしています。市内の福祉学科のある大学や路上演劇祭、市主催の移動支援の研修会、民生児童委員の勉強会などで公演をしています。地域で障害のある人が暮らしやすい社会になるように、公演を実施しています。随時公演依頼募集中です。

(報告者 高橋久美子)

## 就労支援委員会

就労支援委員会では、24年度の主な取組として企業就労しているご本人やご家族の自立(自律)定着支援のために少しでもお役に立てればと「浜松・浜北育成会共催 就労カフェ」を6月、9月、12月、3月の4回開催します。場所は、交通アクセスに便利な浜松市福祉交流センターを予定しています。

開催する目的は企業就労している仲間同士が語り合ったり、仲間をつくったりするおしゃべりの場を提供することです。本人の「はたらく・よか・くらす」為の生活サポートにつながれば幸いです。スタッフも各種企業就労の為の専門スタッフが参加しており、困りごとなどご相談いただければお役に立てる情報も提供できると考えています。

プログラムは、アイスブレイク(自己紹介)、パラスポーツ、二次障害防止の取組、音楽活動、〇〇カフェ、本人たちによる議論からの各種提案の取組などを行っています。将来的にはプログラム内容を本人たち自らが計画して開催していけるようにサポートをしていきたいと考えています。

まずは是非お気軽にご参加いただければと思います。

(報告者 伊藤 秀猛)

## 発達支援委員会

昨年度まで、講座を前堀の1人働きプラス当日参加者のボランティアで企画運営して来ましたが、この度新しい委員を加えて実働部隊3人で開催して行くことになりました。喜んだのも束の間、先日前堀が骨折してしまい、口は動くのですが運転できない・荷物を運べない・字がうまく書けないという苦境におちいりました。このため、伝統の?梅シロップ作りは開催不能となりましたが、3人の委員で何とか補い合って他の講座を開催続けていきます。また、企画についても新しい感性で新企画を打ち出していけるよう、骨折が治ったら頑張ります。皆さんも転倒にはお気を付けてください。

5月12日に開催された『かーくんの作品展とワークショップ』には、60人の参加者で大変楽しい時間を過ごすことができました。かーくんの今のマイブームはミシンでキャラのぬいぐるみです。またやりますので、お楽しみに。

(報告者 前堀 告子)

## 相談支援委員会

2024年3月に「しずおかサポートファイル」が改訂されました。

新たに追加されたページは、

- ・年代別の「記入のアドバイス」
- ・障害基礎年金についての説明と年金申請のための下書きのページ
- ・遺言書の作成について
- ・デジタル遺産について



その他にも、場面ごとに使うページがわかる「場面別活用例」も見やすくなり、就労や自立を目指す達成度を記録する「ライフスキルチェックシート」もリニューアルしました。

サポートファイルは静岡県ホームページからダウンロードもできますが、今年度の説明会に参加した方には、改訂のページ(8ページ分)お渡しします。

今年度の前期説明会&書き込み会は、下記日程で行います。6/29(土)、7/4(木) 両日とも10:30~あいホール 302 (定員30名)

障害基礎年金の申請のアドバイスも合わせて行いますので、ぜひご参加ください。(報告者 小田 史子)

# 行事予定

積極的に行事に参加することで、会員同士の交流を深め、情報交換することにより、必要な知識を身につけましょう！



## 6月

- 6/10 (月) サポートファイル説明会 (根洗学園) 【幼児部会】  
 6/22 (土) 静岡県手をつなぐ育成会大会 (シズウェル) 13:30~ 【静岡県育成会】  
 6/23 (日) 人が輝くまちづくり① (市民協働センター)  
 【認定 NPO 法人魅惑的の倶楽部・ボランティア育成委員会】  
 6/29 (土) サポートファイル説明会&書き込み会 1 回目  
 (あいホール 302) 【相談支援委員会】

## 7月

- 7/ 2 (火) サポートファイル書き込み会 1 回目 (根洗学園) 【幼児部会】  
 7/ 4 (木) サポートファイル説明会&書き込み会 2 回目  
 (あいホール 302) 【相談支援委員会】  
 7/ 7 (日) 第 2 回親子で歌おう! ハッピークワイア 13:30~15:30  
 (福祉交流センター第 3 スタジオ) 【成人部会】  
 7/11 (木) サポートファイル書き込み会 (あいホール) 【特別支援学校部会】  
 7/12 (金) 代表者会議 19:00~21:00 (天竜厚生会城北の家) 【浜松育成会】  
 7/13 (土) 浜松市福祉事業所フェア (浜松市総合産業展示館) 【浜松市】  
 7/20 (土) マジックハートコンサート 【認定 NPO 法人魅惑的の倶楽部・イベント委員会】  
 7/21 (日) 親子陶芸教室 午前 (西部協働センター) 【発達支援委員会】  
 7/25 (木) 人が輝くまちづくり② (常盤工業 (株))  
 【認定 NPO 法人魅惑的の倶楽部・ボランティア育成委員会】

## 8月

- 8/ 3 (土) 浜松キャラバン隊公演「わくわく福祉体験会 in いとめ  
 (中央区白羽 600 番地) 【啓発委員会】  
 8/ 4 (日) ボウリング大会 (浜松毎日ボウル) 13:30~ 【成人部会】  
 8/3・4 (土・日) 人が輝くまちづくり③④ (福祉交流センター)  
 【認定 NPO 法人魅惑的の倶楽部・ボランティア育成委員会】  
 8/20 (火) 浜松学園親子見学① (浜松学園) 【児童委員会・発達支援委員会】  
 8/21 (水) 浜松学園親子見学② (浜松学園) 【児童委員会・発達支援委員会】  
 8/22 (木) 親子社会科見学 (掛川花鳥園・ハウス食品袋井工場) 【小・中学校部会】  
 8 月未定 就労継続支援 B 型見学 (場所未定) 【中学校部会】  
 8 月未定 浜松市知的障害者相談員研修会 【浜松市】

## 9月

- 9/ 1 (日) より隔週 6 回開催 ペアレントプログラム《指導者 矢田 勝》  
 (ほっとスペース moca) 【発達支援委員会】  
 9/ 5 (木) 施設見学&ランチ会 【特別支援学校部会】  
 9/ 7 (土) 浜松キャラバン隊公演「浜松市移動支援従事者養成研修」(場所未定)  
 【啓発委員会】  
 9/ 7 (土) 静岡県職業自立啓発セミナー (シズウェル) 【静岡県育成会】  
 9/ 8 (日) 第 3 回親子で歌おう! ハッピークワイア 13:30~15:30  
 (福祉交流センター第 1 スタジオ) 【成人部会】  
 9/ 8 (日) 第 4 回就労カフェ (福祉交流センター) 【就労支援委員会】  
 9/ 8 (日) 静岡県障害者スポーツ大会 (草薙総合運動場) 【静岡県】  
 9/ 8 (日) かーくん作品展 (ほっとスペース moca) 【発達支援委員会】  
 9/14 (土) 浜松市障害者スポーツ大会(すまいる) (浜北グリーンアリーナ) 【浜松市】  
 9/28 (土) 東海北陸大会 (岐阜県羽島市) 【東海北陸ブロック協議会】

※諸事情により中止となる場合もございますので、ご了承ください。

### 編集後記

新型コロナウイルスが 5 類へ引き下げられて 1 年が経ちました。日常生活はコロナ前にほとんど戻りましたが、会議のオンライン併催は当たり前になっています。これはこれで便利な時もありますが、やはり顔を合わせてお話することの大切さもあらためて感じる今日この頃です。  
 Hiro

### 問い合わせ先

浜松市浜松手をつなぐ育成会広報委員会  
[ikuseikai@hamamatsu-ikuseikai.net](mailto:ikuseikai@hamamatsu-ikuseikai.net)  
 TEL/FAX 053-475-0448